

力強く、前へ…

令和7年6月24日

キャリア教育の充実 社会的・職業的自立に向けた教育

毎年、美園小学校では「学校評価」を実施しています。保護者の皆様にも、様々なご意見をいただいております。感謝申し上げます。

その学校評価において、課題となっているのが「キャリア教育の充実」です。

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、**キャリア発達**を促す教育」です。**キャリア発達**とは、「**社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程**」です。



ちょっと難しい説明となりましたが、学校では、子どもたちの将来に向け、「係や当番の仕事」「委員会の仕事」「学校行事などでの役割」などを通して、自分の持ち味を発揮したり、役割を果たしたりする能力などを育成しています。このキャリア教育は、学校だけでなく家庭との連携が不可欠です。



ぜひ、将来の夢や保護者の方々のお仕事について、子どもと話してみてください。お家でのお手伝いや当番などで、お子さんが上手にできたことや得意なことを、大いに褒めてください。

今年の夏休みは、「お家の人のお仕事インタビュー」も実施予定です。毎日仕事は忙しく、大変であるのは誰もが同じことと思いますが、いずれ子どもたちも社会に出ます。そのときに向け、**大人が「働きがいや言動で示す」ことは、子どもに大きな夢を与えることに繋がるはず**です。



5年生 米づくり体験「田植え」

6月17日(火)、5年生が田植え体験を行いました。

毎年この田植え体験で、田んぼを提供していただいている中村様をはじめ、分福公民館の職員の皆様、多くの地域の方々そして保護者ボランティアの皆様のご協力により実施できました。当日は、気温35度近くに及ぶ厳しい暑さの中でしたが、子どもたちは初めての田植えに熱心に取り組んでしました。



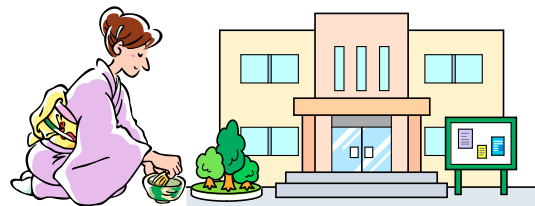
この田植えの様子が、上毛新聞に掲載されましたので、その記事の一部を紹介します。

「児童は『カブトエビ見つけた』『アメンボもいるよ』などと声を上げ、泥の中に苗を植えた。飯島瑠花さんは、『泥で歩きづらくてたいへんだった』と話した。児童は4月から総合的な学習の時間で郷土の農業を学んできた。秋まで米の成長を見守り、収穫後は学校で皆で味わう計画だ」(6月18日「上毛新聞」より)



私たちの主食であるお米。そのお米を生産している農家の方々の苦労ややりがい、米づくりに対する思いなどについて学習し、郷土のお米や農業について考えを深めてほしいと思います。

3年生 公民館見学



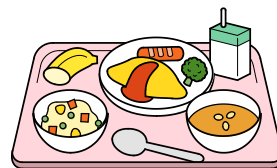
6月11日(水)、3年生が公民館見学を行いました。
当日は、雨が降る悪天候でしたが、みんなカッパを着て
分福公民館に向かいました。

公民館では、様々なサークル団体の皆様にご協力いただき、
「茶の湯体験」や「書道体験」などを行いました。特に茶の湯
体験は、初めての子が多かったと思います。正座をし、和菓子
をいただきながら抹茶を飲むという子どもたちの姿から、緊張
していることが伝わってきました。こうした日本の伝統文化に
触れ、実際に体験することは文化継承の点からも、とても大切
なことだと思います。

子どもは、公民館は知っていながらも、公民館でどんなこと
が行われているのか分らなかった子も多かったと思います。
今回の見学を通して、地域の人が集まる大切な場所であることを
学ぶことができました。地域の皆様のご協力により、貴重な
体験、貴重な学びができて、とても良かったです。



2年生 給食センター見学



6月17日(火)、2年生が給食センターを見学しました。
とても暑い日でしたが、子どもたちは熱中症対策をしながら、無事に見学を終えました。

給食センターでは、右の写真のように、毎日学校で食
べている給食の作り方やその器材について、お話を聞いた
り、実際に見学したりしました。説明の中では、「今日
のメニューのコーンポタージュならば、一つの大きな
釜で、800人分つくることができます」ということに、子
どもたちは皆びっくりしていました。

見学を終えると、その日のメニューを給食センターで
いただきました。学校で食べるよりもおいしく感じられ
たようで、1組も2組もたくさん食べられた子が多かった
ようです。

給食センターの人たちのおかげで、毎日おいしい給食
が食べられることに感謝し、残さずたくさん食べられる
ようになることを期待しています。

行き帰りの安全確保のため、保護者ボランティアの方
にはたいへんお世話になりました。ありがとうございました。

